

用語集

	用語	解説	出典・参考資料
あ行	オーナーシェフ	料理人であるだけでなく、店の経営者でもあること。	
か行	クラインガルテン	ドイツ語で「小さな庭」という意味を持つ、滞在型施設がある市民農園。日本では1990年に、都市住民に農地を貸し付けることなどを盛り込んだ「市民農園整備促進法などが整備され、大都市近郊で建設が始まった。	朝日新聞掲載「キーワード」の解説
さ行	里山情報バンク	千葉県民の貴重な財産である里山を次の世代に引継ぐため、平成15年5月に施行された「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例」の趣旨に即して、里山活動団体による里山の保全・整備を一層促進するために創設した制度。土地所有者による整備が困難となった森林の情報を県が市町村や森林組合の協力により収集し、里山活動団体に提供することにより、ボランティアによる森林整備を促進する。	千葉県 HP https://www.pref.chiba.lg.jp/shinrin/satoyamahozen/jouhoubank.html
た行	地域循環圏	地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、それが困難なものについては物質が循環する環を広域化させていき、重層的な地域循環を構築していこうという考え方のこと。平成20年度第2次循環型社会形成推進基本計画において、地域循環圏の考え方が明記された。	環境省 HP http://www.env.go.jp/recycle/circul/area_cases.html
は行	バイオトイレ	便槽の中にオガクズなどを詰め込んであり、排泄された糞尿を、オガクズなどととも攪拌して好気性微生物を活性化させ、分解・堆肥化させる。大きくわけて電気ヒーターなどにより高温加熱する方式と加熱しない方式に分類できる。	バイオトイレ「フリー百科事典 ウィキペディア日本語版」、2015年7月21日(火)13:00UTC http://ja.wikipedia.org
	ビオトープ	生命：バイオ bio と場所：トポス topos の合成語で生物の生息空間のこと。その地域に住むさまざまな生き物が地域固有の自然生態系を構築している森林や湖沼、草地 河川、湿地、岩場、砂地などは全てビオトープといえる。	(特非) 日本ビオトープ協会 HP http://www.biotope.gr.jp/about/
ま行	モンドセレクション	消費生活製品の技術的水準を審査する民間団体であり、これらの商品に対して優秀品質賞を授与することをミッションとしている。食品、スピリッツ並びリキュール、ビール、水 ならび ソフトドリンク等のカテゴリーがあり、受賞した商品は優秀品質賞ラベルを表示することができ、販売促進につながると考えられる。	MONDE SELECTION http://www.monde-selection.com/jp/

	用語	解説	出典・参考資料
や行	野菜工場	屋内で温度や湿度、光量などを最適な状態にコンピューターで制御して野菜を栽培する施設。四季を通じて一定の価格で安定した供給ができる。また、安全性の高い生産や土地の有効利用などが可能。トマト・イチゴ・葉物を主に栽培。植物工場。	コトバンク(デジタル大辞泉の解説) https://kotobank.jp/word/%E9%87%8E%E8%8F%9C%E5%B7%A5%E5%A0%B4-648171